



## 心を育む給食週間 鷹山小学校で「食育講話」

1月20日、鷹山小学校で、深山ミルクえんの樋口絵梨さんを講師に迎え、食育についての講話がありました。樋口さんは家族で酪農を営みながら酪農教育ファシリテーターとして幅広く活躍されており、白鷹町は酪農が盛んな町であることや、私たちはたくさんの命や自然の恵みをいただいて食事をしていることなどを話されました。児童たちは真剣な眼差しで話を聞き、毎日の食事に改めて感謝する機会となりました。



## 伝統を絶やさめよう 深山和紙原料の「楮ふかし」

1月18日、深山地区では、深山和紙の原料となる「楮」をふかす作業が早朝から行われました。和紙づくりの初期の工程で、約800<sup>キ</sup>の楮を4束に分け、1束を2時間半～3時間ふかして冷水にさらし、表皮をはいで外に干します。和紙漉き職人の高橋恵さんと深山地区民の手で守られている伝統の作業で、この日は地区外の方も参加。1月末からは乾燥した黒皮を水に浸して甘皮を取り除く「楮ひき」も行われました。

## 食材の買い出しも自分で

### 東根小学校で「弁当の日」

1月26日、東根小学校6年生が、食材を自ら買いに行き自分で作った弁当を持って登校する「弁当の日」を実施しました。

6年生は、昨年度にも「弁当の日」を実施。昨年度はおかずを持参し、ごはんは総合学習での米作り体験で収穫したお米を炊きました。ごはんも持参の今年は、おにぎりににぎったり、いなりずしをつくってきた児童も。「弁当の日」を実施するにあたり、家庭科の授業では町健康福祉課の栄養士とともにこんにゃく煮やきんぴらごぼう、大学いもなどを調理実習しました。調理実習で教わったおかずのほか、家庭で相談するなどして自分で決めたおかずを、前日の夜から下準備した児童もあり、作り方を教えあったりしていました。

児童たちは、弁当のおかずを決めたり食材を買いに行ったりの準備から弁当ができたまで、家庭でもお家の方といろんなことを話し、感じたことがあると思います。校

長先生は「食材の生産者や毎日食事をつくってくれる家のひとへの感謝の気持ちを持って残さず食べるようになり、自分でつくってほめられると自信にもつながる。『弁当の日』を来年度以降も実施していきたい。」と話されました。

東根小学校では、このほか3年生の総合学習で地元のごぼう組合の協力により、伝統野菜「岡の台ごんぼ」を栽培収穫し、地域の健康づくり推進員にごぼう料理を教わるなど、学校と地域が一緒になり食育に取り組んでいます。



15ページにお知らせを掲載の「白鷹学講座パート4」の講演会の中で、東根小学校の弁当の日の取り組みが紹介される予定です。ぜひお聴きください。

## 除雪ボランティア

ありがとうございます

- ◆ 共栄建運 株式会社 様
- ◆ 有限会社 山栄測量設計 様
- ◆ 株式会社 鈴木工務店 様
- ◆ 町職員除雪ボランティア隊

豪雪となった1月、町内企業3社と町の若手職員により、除雪が困難な高齢者世帯13軒の除雪ボランティア活動が行われました。

除雪ボランティアを受けた世帯の方は「今年は雪が多く窓が開けられなかった。たいへんありがたい。」などと話されています。

ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。



中山地区での除雪ボランティア